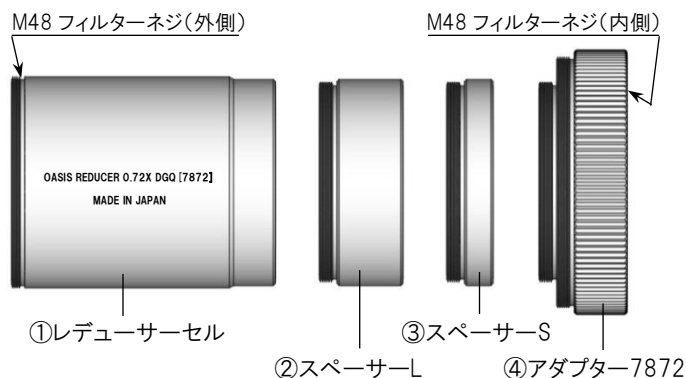


このたびは、レデューサー0.72xDGQ【7872】をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

警告 絶対に太陽を見ないでください。
失明の危険があります。

各部の名称



71FLに取り付ける場合＝①＋②＋③＋④

90FLに取り付ける場合＝①＋②＋④

※③は 71FL 専用部品ですので 90FL では使用しません。

使用上のご注意 ～レデューサー本体編～

・スペーサーについて

本製品は BORG71FL と 90FL の各々に最適な性能になるように、スペーサーの組み換えでフランジバックを調整する設計になっています。②はフィルターBOXn【7519】を使用する際に代わりに取り外すスペーサーで、③は 71FL 使用時専用のスペーサーです。裏面の組み合わせ図を参考にスペーサーを組み替えてご使用ください。

・ネジの緩みについて

スペーサーを組み換える際は、各ネジが緩まないようにしっかりとネジ込んで下さい。ネジ込みが緩いと、本製品を鏡筒から外した時に①のネジが外れてしまい、鏡筒(特に 60φ 鏡筒)の中に残ってしまう事があります。鏡筒の中に残ってしまった場合は無理に引き抜かず、レンズに触らないよう注意して対物側に押し出して取り出してください。

・内面塗装について

②、③、④の内側は塗装仕上げになっています。素手で触ると油脂が付き、汚れが取れにくくなりますのでご注意ください。

使用上のご注意 ～周辺パーツ編～

・バックフォーカスについて

本製品はカメラマウントとの接続をカメラマウントホルダーM【7000】で接続するよう設計されています。【7923】を使用しますと性能を発揮出来ませんのでご注意下さい。また、ミラーレス一眼デジタルカメラを使用する場合、必ず【7921】と【7922】を併用してください。

・適合する対物レンズについて

本製品は BORG71FL と 90FL の各々の対物レンズに最適になるよう設計されています。その他の BORG 対物レンズや他社製の対物レンズに組み合わせた場合、性能を保証出来ません。

・周辺パーツへの取り付けについて

【7861】や【9868】、【7509】をはじめとした BORG パーツの内側に植毛紙が貼ってあると本製品が入らない事があります。その際はレデューサーが入る部分の植毛紙を剥がしてから入れてください。また【6010】、【6011】、【6015】に装着する際、レデューサーセル周りの隙間が無い為にきつく感じる場合があります。ご了承ください。

・フィルターについて

本製品には①の対物側※と④の内側に 48mm のフィルターネジが設けてあります。天体撮影用の光害カットフィルターなどを取り付ける場合にご使用ください。またフィルターBOXn【7519】を使用する事が出来ますので、詳しくは裏面の取り付け方法をお読み下さい。

※ ①の対物側のフィルターネジは組み合わせる鏡筒によってフィルター枠が鏡筒に干渉して使用出来ない場合があります。ご注意ください。

・システムについて

本製品を装着するとピントの合う位置が直焦点撮影時と比べて約 80mm 短い位置になりますので、直焦点の組み合わせから全長を短くしないとピントが出ないことがあります。具体的なシステムは複雑多岐に渡っており、全てはとてども掲載出来ません。最新の情報は BORG HP の【7872】の製品ページ、同ページに掲載しているシステムチャート、またはブログのレデューサー0.72xDGQ カテゴリーに随時掲載していますのでそちらを参照ください。

主なスペック

機種名【品番】	レデューサー0.72xDGQ【7872】
諸性能	レンズ有効径:42mm 倍率:0.72 倍
レンズ構成	3 群 4 枚(コバ塗済)
コーティング	マルチコート
全長(光路長)	97.5mm(12mm)
最大外径	①:48φ、④:60φ
適合対物レンズ	71FL、90FL
重量	270g(樹脂キャップ別)
パーツ取り付け部 サイズ	対物側:M57P0.75 オスネジ カメラ側:M57P0.75 メスネジ
付属品	48φ 樹脂キャップ、60φ 樹脂キャップ、 本取扱説明書、システムチャート

対物レンズ装着時の焦点距離及び F 値は以下ようになります。

	直焦点	【7872】装着時
71FL 対物レンズ	400mm F5.6	288mm F4.1
90FL 対物レンズ	500mm F5.6	360mm F4

※ご不明な点は BORG の HP をご参照いただくか、弊社へお問い合わせください。

レデューサー0.72xDGQ についてのミニ解説

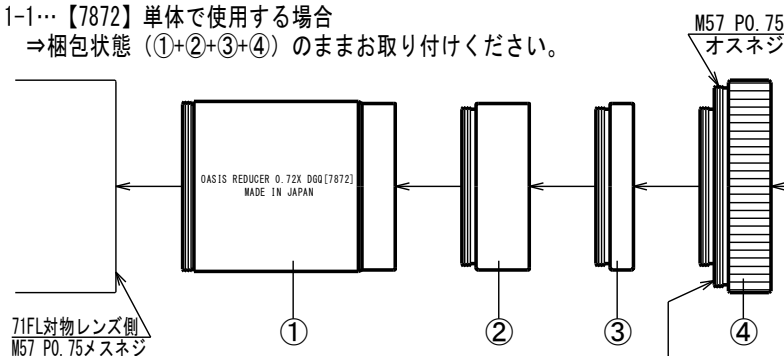
本レデューサーは従来のマルチタイプの設計とは異なり、BORG71FL と 90FL の性能を最大限発揮出来るよう対応機種を絞った形で設計されました。これにより倍率は 0.72 倍、35mm フルサイズに対応したイメージサークルで、従来のマルチレデューサー(7870)に比べ、コマ収差や青ニジミも低減させる事に成功しています。高性能化にあたり使用したレンズは 3 群 4 枚、更に BORG の補正レンズとしては初のコバ塗を行う事で光学性能を余す所なく発揮できるようにしました。

光学性能以外にも工夫を凝らし、レデューサーセルの固定をシンプルなネジ込み式として撮影の際にスクエアリングが狂いにくい構造になっています。また天体撮影に重要なフィルター取り付け部をレデューサー側に 2ヶ所、併用するパーツ(【7000】やフィルターBOXn【7519】)にも取り付けられるように配慮しました。対物レンズの性能を最大限生かす BORG 純正のレデューサーでボーグライフを楽しんでいただけたら幸いです。

レデューサー0.72xDGQ【7872】の組み合わせ図

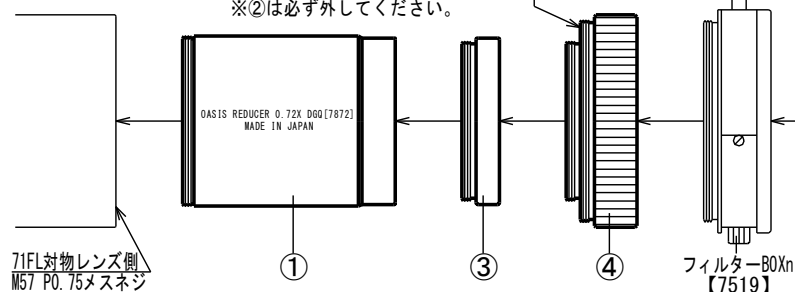
1、71FL対物レンズとの組み合わせ

1-1…【7872】単体で使用する場合
⇒梱包状態 (①+②+③+④) のままお取り付けください。



71FL対物レンズ側
M57 P0.75メスネジ

1-2…フィルターBOXn【7519】を併用する場合
⇒①+③+④の順で組み合わせます。
※②は必ず外してください。

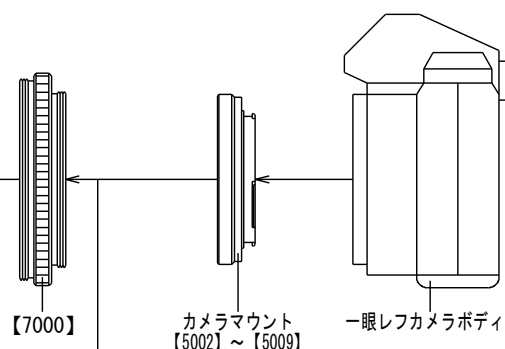


71FL対物レンズ側
M57 P0.75メスネジ

M57回転装置DX【7352】は
①を取り外して④の対物側
に取り付けてください。

フィルターBOXn
【7519】

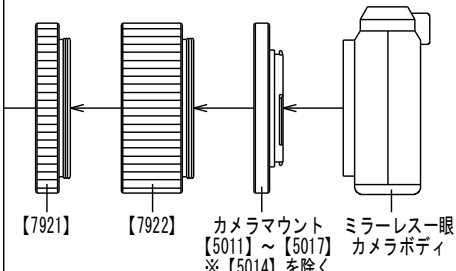
※ 本レデューサー (図中①、②、③、④)
以外のパーツとカメラは全て別売りです。



【7000】

カメラマウント
【5002】～【5009】

一眼レフカメラボディ

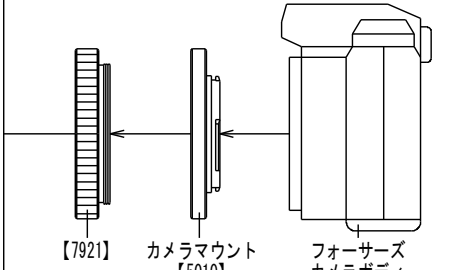


【7921】

【7922】

カメラマウント
【5011】～【5017】
※【5014】を除く

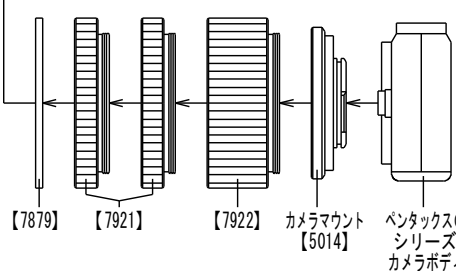
ミラーレス一眼
カメラボディ



【7921】

カメラマウント
【5010】

フォーサース
カメラボディ



【7879】

【7921】

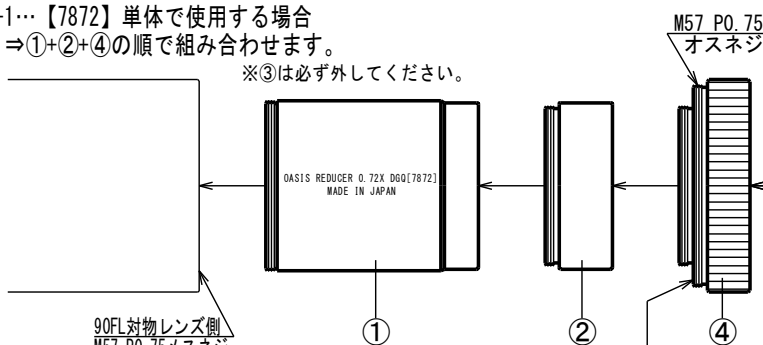
【7922】

カメラマウント
【5014】

ペンタックスQ
シリーズ
カメラボディ

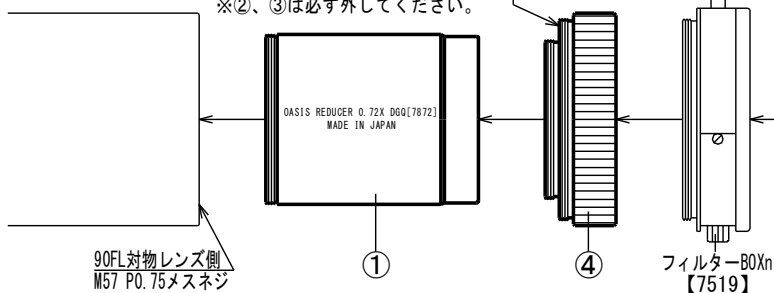
2、90FL対物レンズとの組み合わせ

2-1…【7872】単体で使用する場合
⇒①+②+④の順で組み合わせます。
※③は必ず外してください。



90FL対物レンズ側
M57 P0.75メスネジ

2-2…フィルターBOXn【7519】を併用する場合
⇒①+④の順で組み合わせます。
※②、③は必ず外してください。



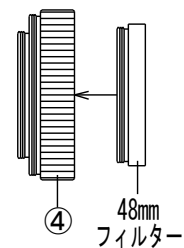
90FL対物レンズ側
M57 P0.75メスネジ

M57回転装置DX【7352】は
①を取り外して④の対物側
に取り付けてください。

フィルターBOXn
【7519】

フィルターの 取り付け方法

48mmフィルター
④の接眼側 (内側) に
装着します。



52mmフィルター
【7000】の対物側面に
装着します。

